産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年4月20日

宮崎県知事

殿

提出者

住 所 青森県上北郡横浜町字林尻102-100

氏 名

日本ホワイトファーム株式会社代表取締役 古城 守

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

0175-78-3934

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 2023 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本ホワイトファーム株式会社 宮崎食品工場
事業場の所在地	宮崎県日向市美々津町2277番地
事業の種類	食料品製造業 (09)
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2023年4月1日~2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値	
排出出	量 30,612 t	全 処 理 委 託 量	4, 836 t	
自ら再生利用を行 産業廃棄物の	0	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	
自ら熱回収を行産業廃棄物の	0	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	4, 836 t	
自ら中間処理により減量す産業廃棄物の	25, 776	認定熱回収業者への処理 委託 量	0 t	
自ら埋立処分又 海洋投入処分を行 産業廃棄物の	う 0	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
※事務処理欄				

(日本工業規格 A列4番)

(実施状況報告)

産業廃棄物発生量

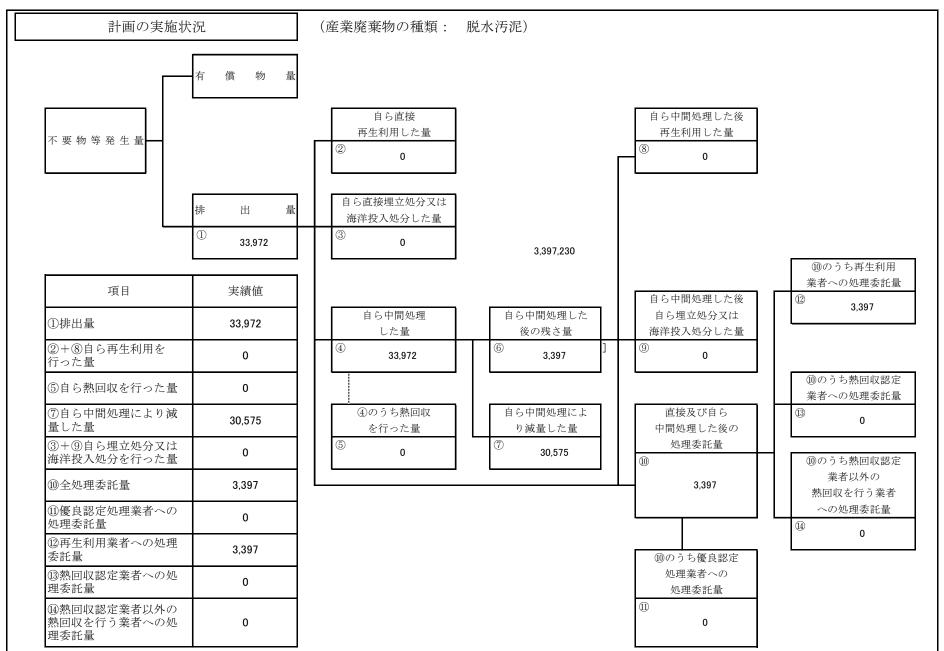
別添一2

															_
	①汚泥	②混合物	③廃プラ 類	④ガラスく ず、コンク リートくず及 び陶磁器く ず	⑤金属くず	⑥廃アル カリ(血 液)	⑦廃油	8廃油 (特管)	⑨汚泥・砂利くず (旭ケミカ ル)	⑩蛍光灯	⑪電池	⑫木くず	⑬発泡	⑭動物系 固形不要 物	合計
① 産業廃棄物発生量	33,972	1.8	171.2	3.5	5.4	2,292	5.1	0.1	6.5	0.10	0.06	0.68	0.10	233	36,692
② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
③ 自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
④ 自己中間処理量	30,575	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤ 自己中間処理残さ量	3,397	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥ 自己中間処理後再 生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦ 自己中間処理後自															
己埋立処分又は海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	合計
洋投入量															
⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	3,397	1.8	171.2	3.5	5.4	2,292	5.1	0.05	6.46	0.10	0.06	0.68	0.10	233	5,884

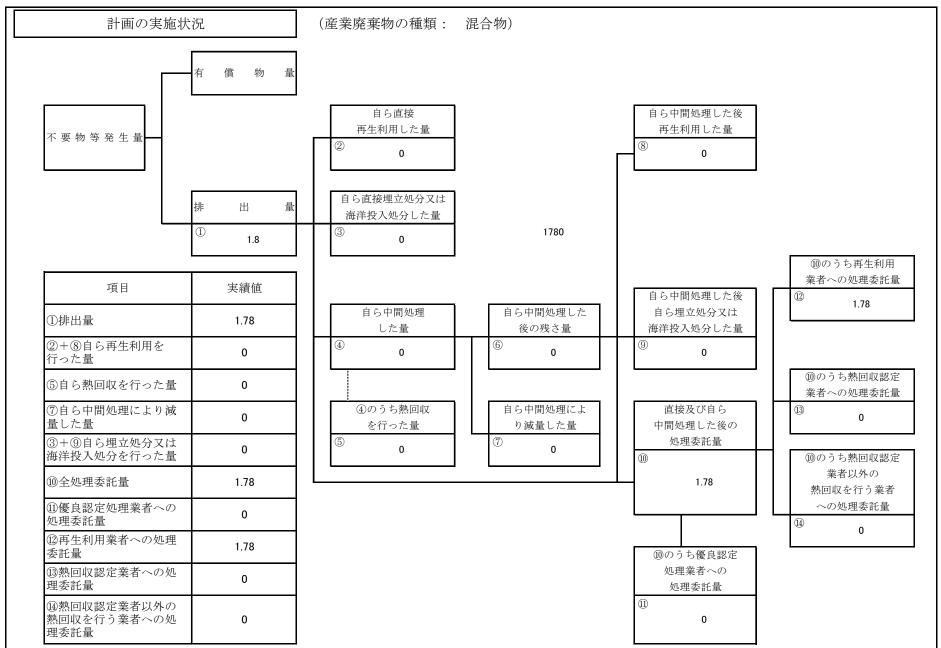
係数13.5429

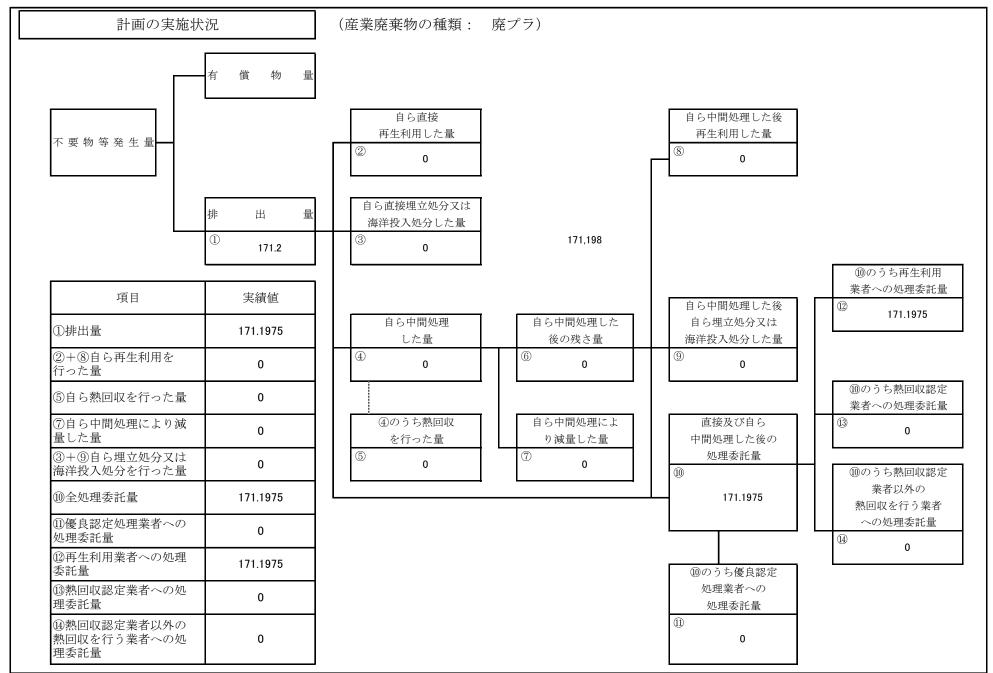
計		発生量
36,692	①汚泥	3,397.2
	②混合物	1.8
	③廃プラ類	171.2
	④ガラスくず、コンクリートくずえ	3.5
	⑤金属くず	5.4
	⑥廃アルカリ(血液)	2,292.3
	⑦廃油	5.1
	⑧廃油(特管)	0.1
合計 5,884	⑨汚泥・砂利くず(旭ケミカル)	6.5
	⑩蛍光灯	0.1
	⑪電池	0.1
	⑫木くず	0.7
	③発泡	0.1
	④動物系固形不要物	232.7
		6,117

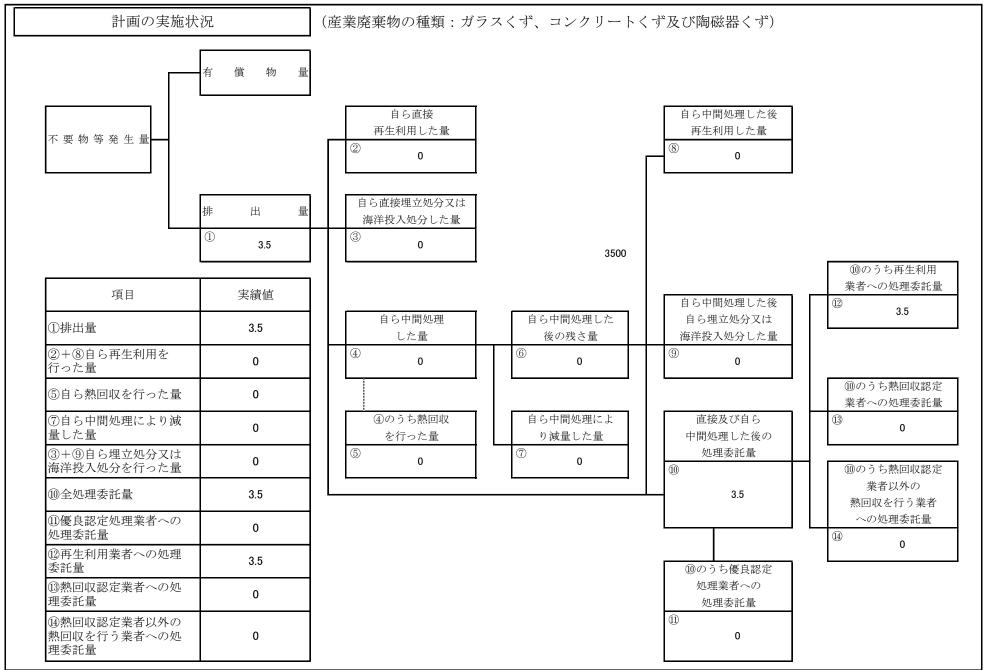
	発生量	発生量 1.000%	
1	33,972.3	36,691.735	92.6%
2	1.8	36,691.735	0.0%
3	171.2	36,691.735	0.5%
4	3.5	36,691.735	0.0%
5	5.4	36,691.735	0.0%
6	2,292.3	36,691.735	6.2%
7	5.1	36,691.735	0.0%
8	0.1	36,691.735	0.0%
9	6.5	36,691.735	0.0%
10	0.1	36,691.735	0.0%
11	0.1	36,691.735	0.0%
12	0.7	36,691.735	0.0%
13	0.1	36,691.735	0.0%
14	232.7	36,691.735	0.6%
	36,692	100.0%	



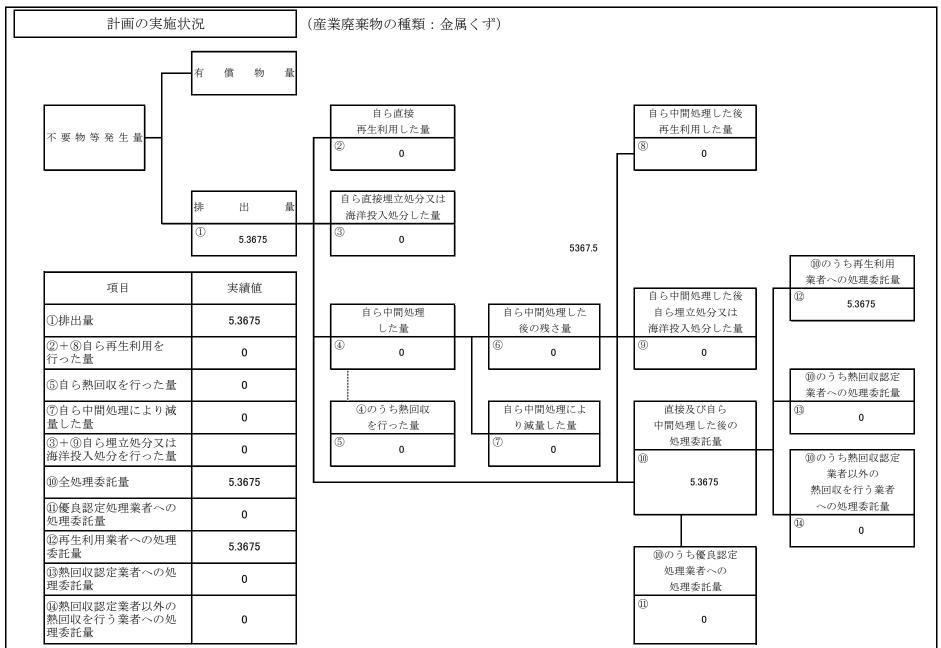


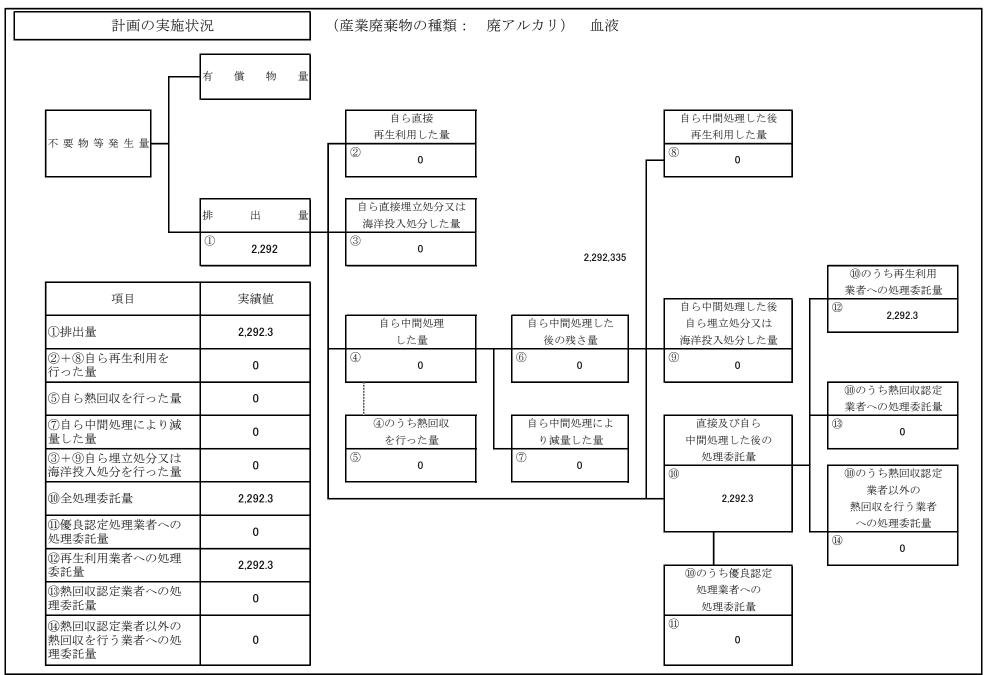


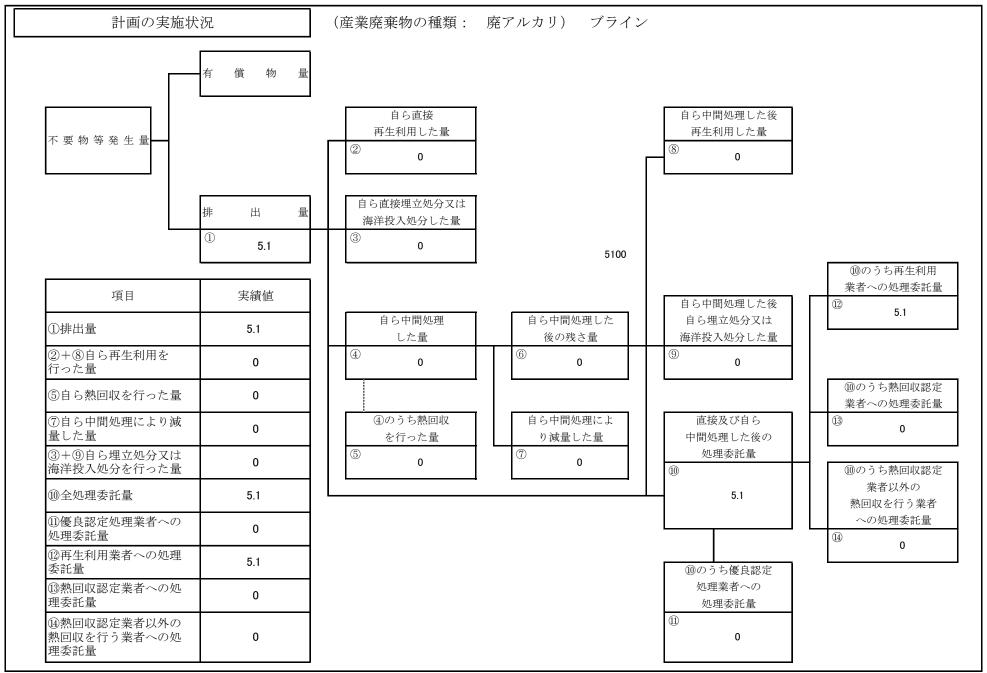


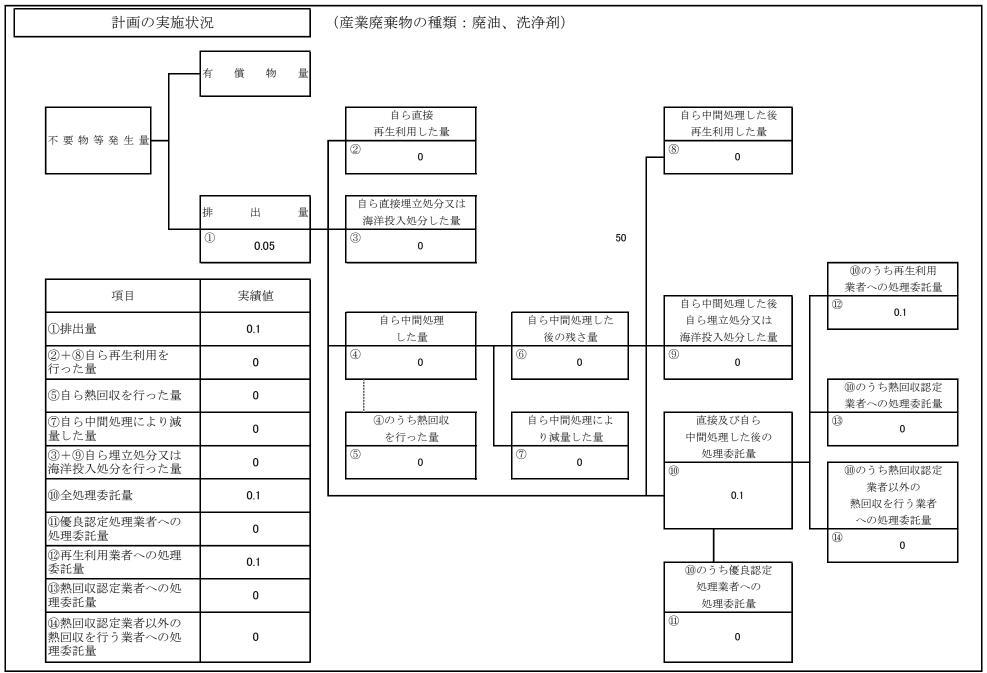




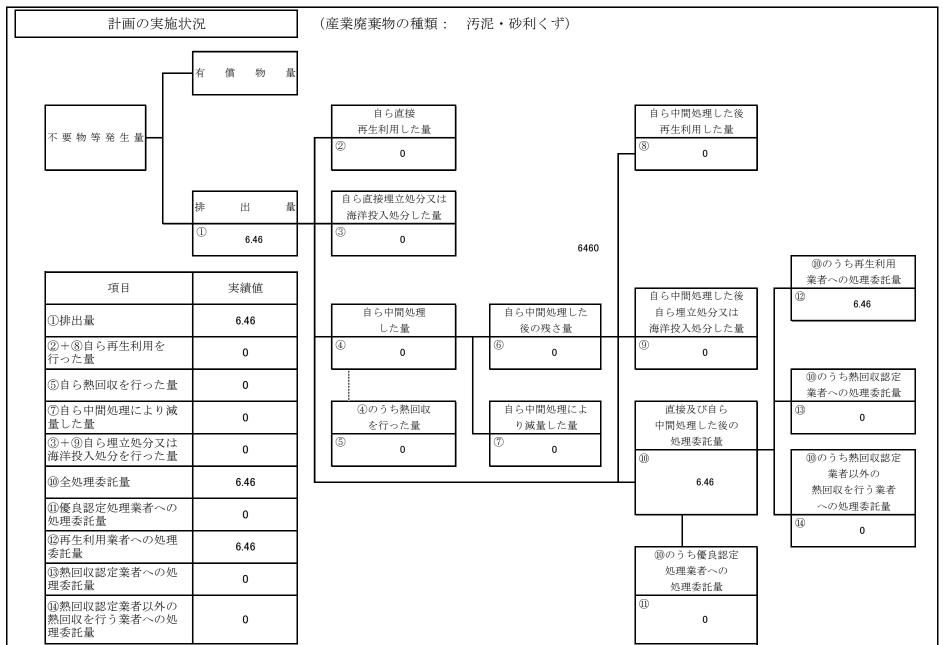




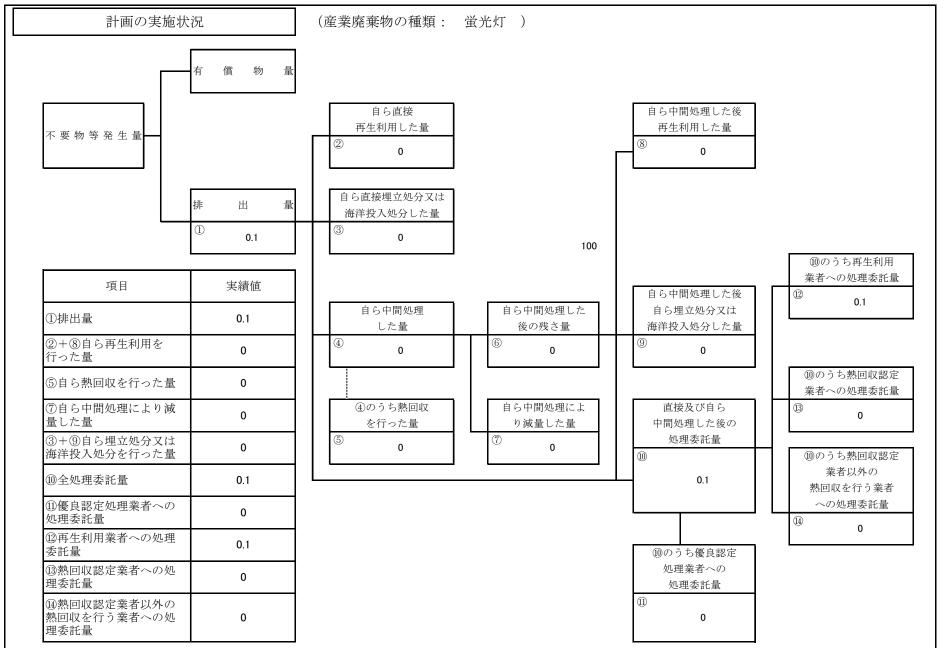


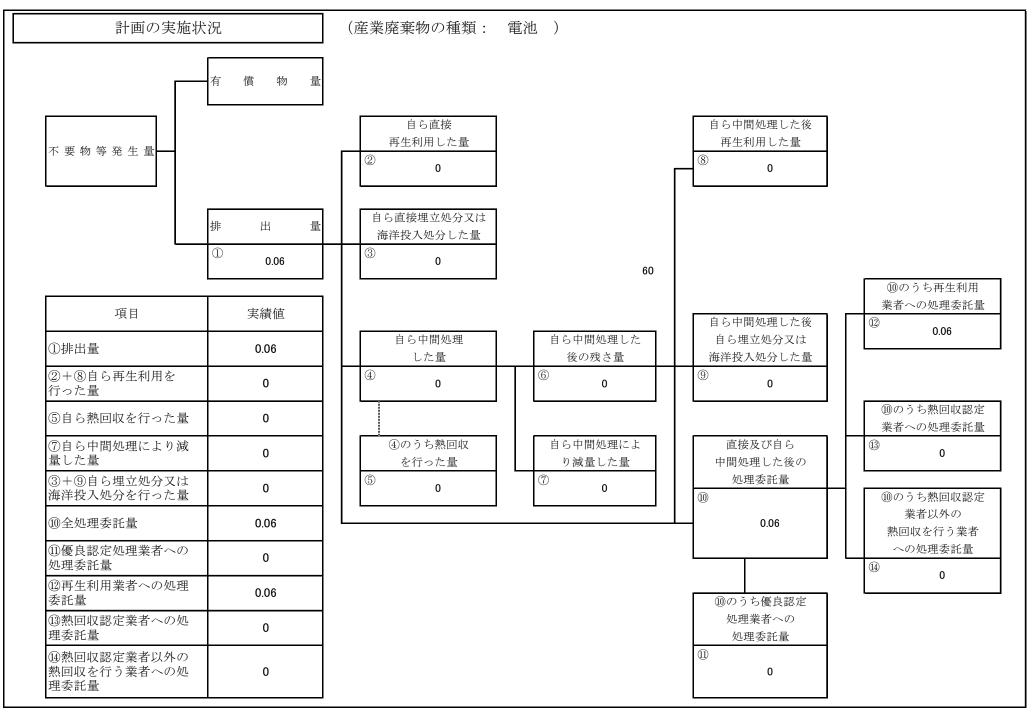


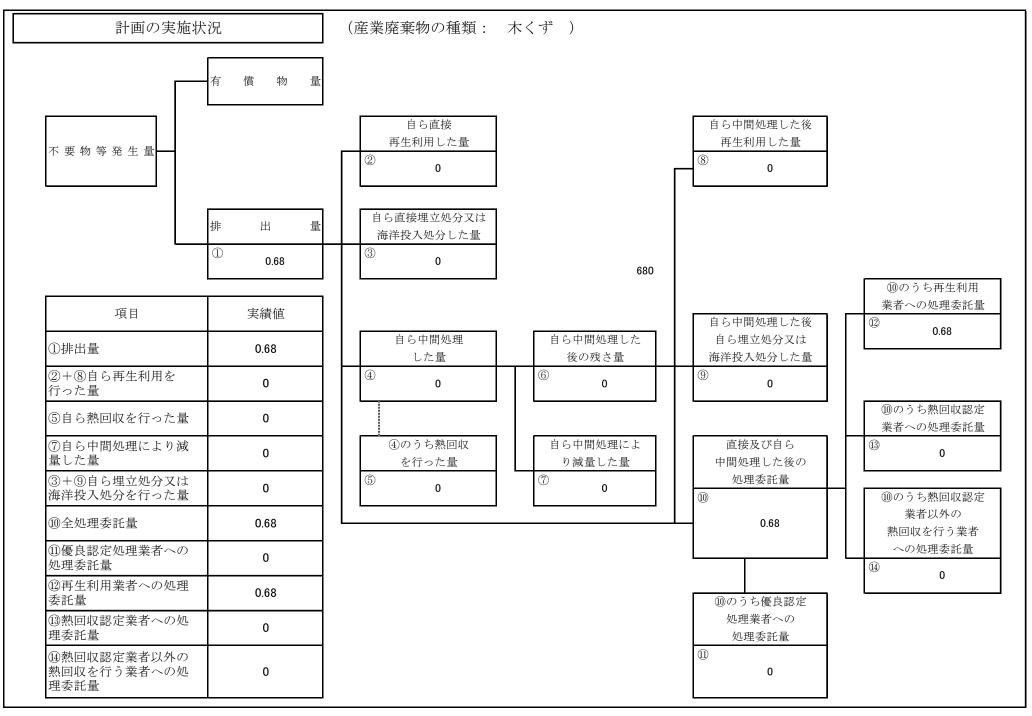


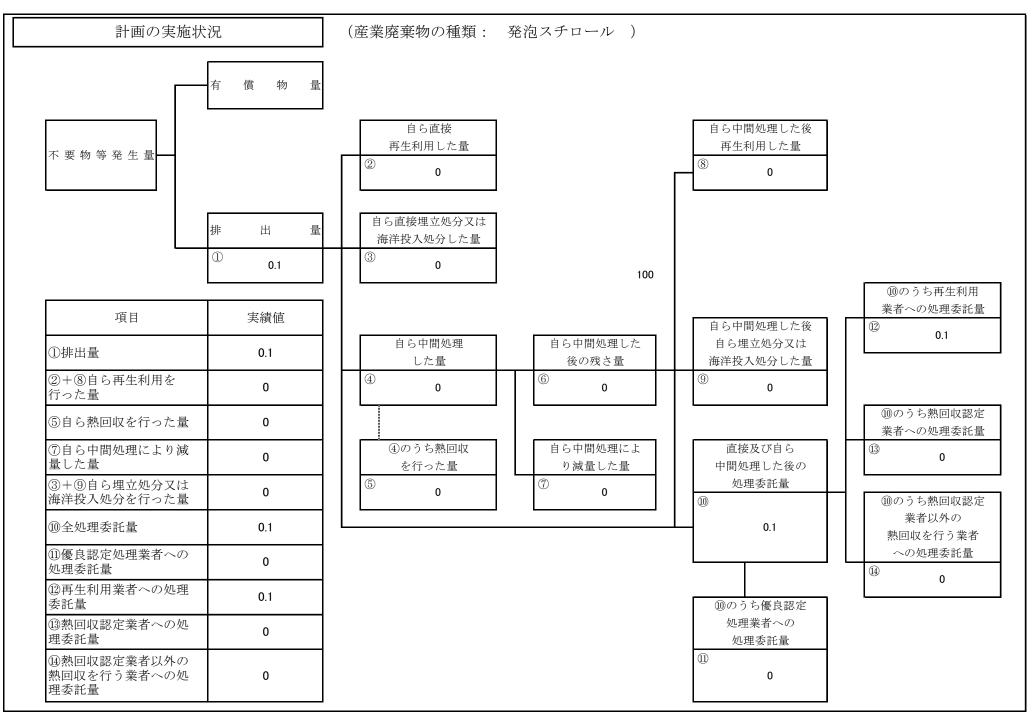




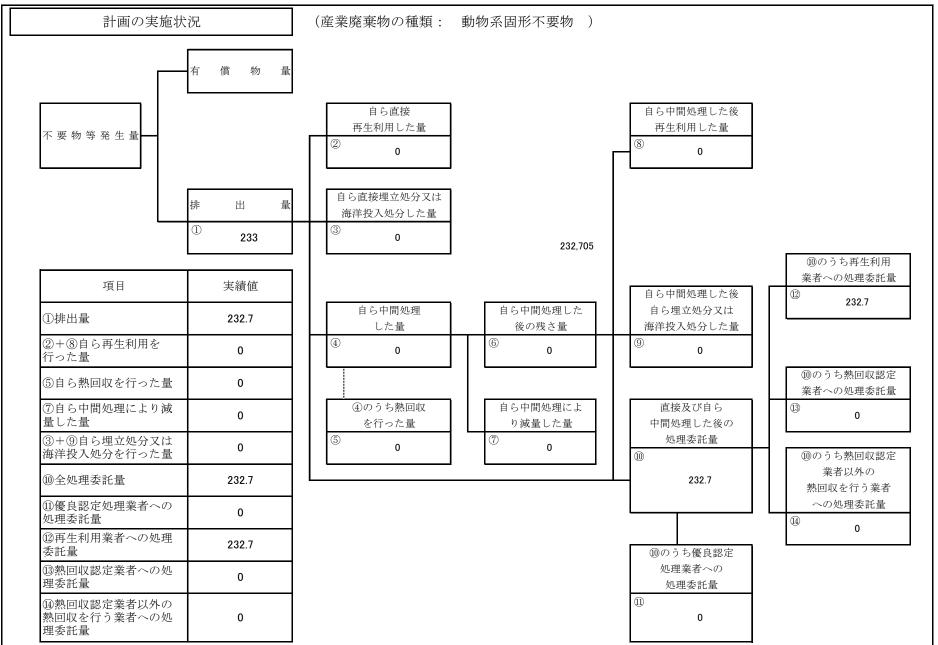












備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
- (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
- (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
- (3)③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
- (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
- (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
- (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
- (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
- (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
- (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
- (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
- (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
- (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
- (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
- (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。